

授業テーマ:ことばの意味を調べよう

目標: 普段あまり使用することのない紙の辞書に触れ、日本語の辞書の基本的な使い方を学ぶ。

既習の語であっても複数の意味を持つ語があることを知り、今後の語彙学習への意欲につなげる。

時間数等	学習活動	指導上の留意点	例にする語 および例文等	準備物
1回目 (40分)	<p>1. 既習の多義語の知識をクラス全体で共有・確認する。</p> <p>・クラスメイトの発言を聞いた後、Tが示すスライドや辞書を見ながらことばに慣れ親しむ。</p>	<p>「きく」を例とし、いくつか例文を提示するが、Tの発話と文字だけでは理解が難しい生徒がいるかもしれないので、絵を用いて文の内容を示し、理解を促す。</p>	<p>・きく</p>	<p>・スライド</p>
2回目～ 4回目 (40分× 3)	<p>2. 日本語の辞書の基礎知識を整理し、辞書の使い方を練習する。</p> <p>①辞書を使いながら50音順を確認。</p> <p>②クラス全員で、辞書を用いて同じことばをひく。その後、例文や意味を音読する。意味をしっかりと確認できるようにTが示すスライドを見て視覚でもできるようにする。</p> <p>③多数の語に触れながら、辞書の扱いにも慣れ、今後の学習につなげる。</p>	<p>・50音の並びを全体で確認して、日本語の辞書の語の基本的な掲載順を伝える。</p> <p>・濁音・半濁音等の特殊拍が入った語についても言及する。</p> <p>・辞書の中の「あおい」をとりあげ、全員同じタイミングで辞書を引く。発話練習にもつなげられるように、意味や例文も音読する。その後、スライドでイラストを見ながら、文の意味を確認して、日本語の意味を日本語で理解できたことへの達成感につなげる。</p> <p>・「やすむ」を使って、Sに例文を作ってもらう。その後、辞書をひき、Sが作った例文が辞書の意味のどれにあたるかを全体で考える。</p> <p>・練習の最後に、言葉の意味を日本語の辞書で調べる場合の留意点を伝える。</p>	<p>・あおい</p> <p>・やすむ</p>	<p>・日日学習辞書『ねっこ』</p> <p>・スライド</p> <p>・ワークシート</p>
5回～6回 (40分× 2)	<p>3. ワークシートに学習したことをまとめる。</p> <p>① Tが複数持っているカードを1枚引いて、カードの例文と調べる語を確認する。</p> <p>【ワークシートに書くこと】</p> <p>・カードの文</p> <p>・下線の語。</p> <p>・辞書で調べた文中の語にあう意味</p> <p>・辞書を使って分かったこと等</p> <p>・自作の例文(カードの例文と同じ意味で使用されている語を入れたもの)</p>	<p>・学習活動の1・2は主に話す・聞く活動となるので、ここで書く練習を行う。日ごろ漢字への苦手意識が強いので、できるだけ辞書に掲載されている漢字は漢字で書くように促す。</p> <p>準備)クラス全員がそれぞれ別の語を調べられるように、Tが予め作った例文を書いたカードを裏返しにして、Sにひいてもらう。</p> <p>その文の中の調べてほしい語に下線をひいておき、Sが即座に調べ学習ができる</p>	<p>・食べる</p> <p>・簡単</p> <p>・いや</p> <p>・あぶない</p> <p>・待つ</p>	<p>ワークシート</p>

		よう配慮する。なお、例文に使用する語はよく知られている意味のものは控える。		
7回～8回 (40分× 2)	4. 一人一台パソコンを使用し PPT 作成、発表する・まとめ。 ①テンプレートを使用し、PowerPoint の操作も学びながら、ワークシートに書いたことを発表できるようにまとめる。 ②発表の流れを T から聞き、発表をする。	・生徒がクラスメイトの発表をしっかりと聞いているかどうか、発表後に内容をふまえて質問する。		・各自作成のスライド
9回 (40分)	5. まとめ ①T から、本授業のまとめを聞く。 ②今後の辞書学習について思ったことを話す。			